

3 文化財の修理等

昭和38年度に国庫補助，県費補助の交付を受けて修理事業等を行なった文化財は次のとおりである。

種別	名称	事業内容	所有者 (管理団体)	総額	国庫補助	県費補助	地元負担
重要文化財	木造千手観音立像	保存修理	福島市 大蔵寺	667,000	566,000	67,000	34,000
〃	旭田寺観音堂	解体修理	下郷町 旭田寺	4,190,000	3,561,000	419,000	210,000
〃	勝常寺薬師堂	屋根修理	湯川村 勝常寺	1,500,000	1,275,000	150,000	75,000
名勝	会津松平氏庭園	庭園内橋修理	会津若松市 (会津保松会)	170,000	85,000	17,000	68,000
〃	〃	保存施設	〃	222,000	111,000	22,000	89,000
史跡・名勝	南湖公園	防災(害虫防除)	白河市	200,000	100,000	20,000	80,000

4 文化財の調査

(1) 指定候補物件等の調査

調査物件(対象)	調査員	調査月日	備考
国道6号線工事地内遺跡調査	渡部委員	38.4.3~4	
指定候補植物調査	五十嵐委員	38.4.10~11	大越町，久ノ浜町
猪苗代湖ミズスキゴケ調査	〃	38.4.24~25	猪苗代町
指定候補植物調査	〃	38.5.15~16	石川町，田村町
指定候補仏像調査	二瓶委員	38.5.13~14	会津坂下町
指定候補植物調査	五十嵐委員	38.5.27~28	湖南村
指定候補仏像調査	二瓶委員	38.6.7~8	喜多方市
指定候補工芸品調査	菊池委員	38.6.28~29	本宮町
中山風穴植物群落調査	渡部委員	38.8.19~21	下郷町
指定候補建造物調査	三本杉委員	38.9.21~22	原町市
	草野委員		

(2) 天然記念物猪苗代湖ミズスキゴケ群落特別調査

ミズスキゴケは湖水位の低下などが原因して，衰滅したのではないかと推測されていたが，最近まれに湖岸に打ち上げられるので，湖底の一部にこのコケが生育しているものと思われた。そのため，その分布・生態等を調査するとともに，生育上支障となっている問題等を検討し，その保存対策をたてるため，文化財保護委員会が主体となり，特別調査が行なわれた。

○調査期間

38.7.2~5

○調査員

文化財専門審議会専門委員

本田正次(東大名誉教授)

同

武田久吉(日本山岳協会会長)

東京都立大教授

宝月欣二

文化財保護委員会記念物理

吉川 需

同

品田 穰

福島県文化財専門委員

吉岡邦二

五十嵐由吉

(県教委担当職員および猪苗代町助役，職員が参加)

○調査結果

天候が悪く舟を出す時間が制限されたため，調査期間中には生育場所を発見することができなかった。しかし舟の運転に協力した漁夫が調査期間後に生育地点を発見した。

なお，猪苗代湖の水位は今後も安定する見通しであり，これに伴ってミズスキゴケの生育には支障ないものとみられ，さらに調査のうえ，保存対策をたてることになった。

(3) 民俗資料緊急調査

生活様式の急速な改変に伴って，民俗資料が滅失の危機に直面しているため，県内30か所を選んで生産・生業を中心にその緊急調査を実施した。

○調査員

方部責任者 7名

地区調査員 30名